

精米工場のカビ食害虫の発生消長

－ 冬季に留意すべき混入害虫 －

成果の特徴

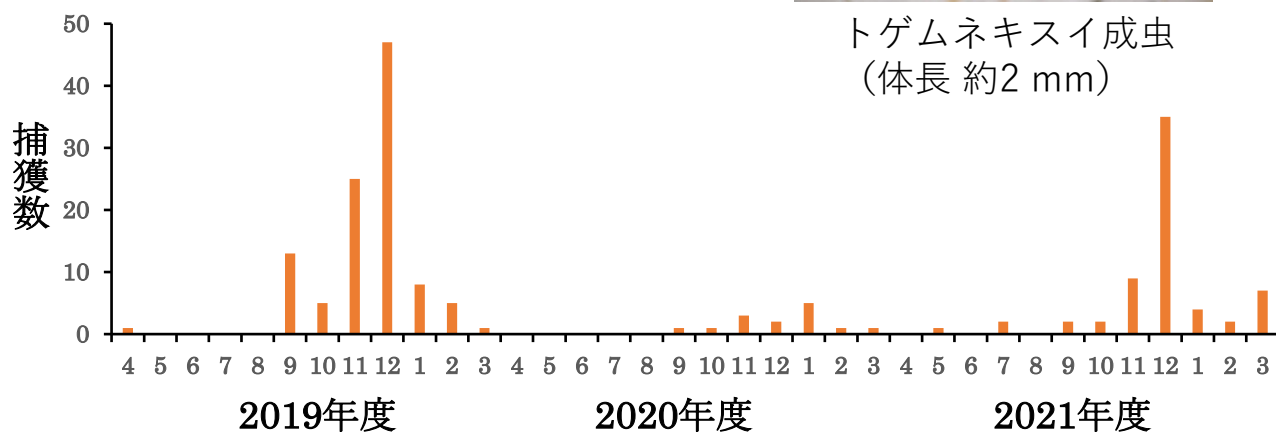
- カビ食害虫トゲムネクスイ属甲虫の精米工場における発生消長を、3年間のトラップを用いたモニタリング調査により明らかにしました。
- 3年間の月別捕獲数の変動をみると、12、1月に成虫のピークが認められました。

成果の内容

精米工場に発生する害虫は冬季には減少するのが一般的ですが、トゲムネクスイ属の成虫は12月や1月に捕獲数がピークになりました。



トゲムネクスイ成虫
(体長約2 mm)



精米工場におけるトゲムネクスイ属甲虫のトラップ捕獲数の変動

成果の活用

精米工場におけるHACCPに沿った害虫管理の上で、冬季に発生量のピークを示すトゲムネクスイ属甲虫は、混入異物の対象として留意が必要です。

参考

宮ノ下明大 (2022) 精米工場におけるトゲムネクスイ属甲虫 (Coleoptera: Cryptophagidae) の分布, 発生量, 季節的パターン. ペストロジー 37(2), 77-81